

令和7年度 第2回 葵西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月4日（金） 午後1時30分から午後2時50分まで
- 2 開催場所 葵西小学校 2階 会議室
- 3 出席委員 長谷川 良樹、古山 照美、石井 朋子、村井 レティシア、宮本 礼子
- 4 欠席委員 三好 千恵、辻岡 和代
- 5 学 校 水野 希樹（校長）、袴田 暁広（教頭）、石原 勝行（教務主任）、
廣瀬 高志（生徒指導主任）、工藤 敬子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 工藤 敬子
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、長谷川委員から古山委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- （1）葵西小の子供たちの様子について
- （2）地域の特色を生かした学校づくり

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）葵西小の子供たちの様子について

議長の提案により、会議に先立って行われた授業参観の感想を交えて、子供たちの様子について意見を出し合った。委員からは以下の発言があった。

- ・ 学年が上がるごとに児童の落ち着きが見られ、特に低学年は以前に比べて落ち着いていて安心できる。6年生と1年生の交流では、1年生が上級生というのが楽しいのだとよく分かった。（長谷川委員）
- ・ 掲示された作品について。学年が上がるにつれて表現力や色彩が豊かになり、子供の想像力の豊かさを感じた。短冊の願い事にも児童の成長や個性が表れており、興味深く拝見した。（石井委員）
- ・ 掲示された絵画や学校新聞から、子供の豊かな発想力や成長がよく伝わってきた。新聞は大人も楽しめて読み応えのある内容であり、感心した。（宮本委員）
- ・ 1年生と6年生の交流中、一人で活動していた子もいて、気になった。葵西小では、ペアが決まっているのか。（村井委員）
- ・ 1年生が6年生と密接して移動している様子を見て、仲の良さが伝わってきた。また、昔行った子育てサロンでの七夕行事で、多くの児童が短冊を書いて参加したことを思い出した。1年生は場面ごとに異なる表情を見せてくれるので、参観する機会があるのはありがたい。（古山委員）

（2）地域の特色を生かした学校づくり

議長の指示により、教頭から、子供を見守る取り組みや学校と連携できることについて考えてほしい旨の提案があり、委員から以下の発言があった。

（登下校時の見守りについて）

- ・ 登下校時の見守り活動について、現在どのような状況か。近所で活動している見守りの方々に、日々頭が下がる思いである。（古山委員）
- ・ 現在活動している見守り隊は3名で、登校時と下校時に黄色い帽子とベストを着用して対応している。若い世代にも参加してほしいが、仕事の関係で参加が難しい。登校時は可能でも、下校時の見守りが難しい状況。（長谷川委員）
- ・ ラジオ体操の際にも早朝から見てくださる方がいる。見守り中に体調を崩した方がいたと聞いて心が痛む。毎日の活動には感謝しかない。（宮本委員）
- ・ 浜松視覚特別支援学校の生徒への横断補助にも取り組んでいた。（古山委員）
- ・ ひどい雨でも、台風の日も毎日立ち、中学生にも声をかけている。（石井委員）

（朝のあいさつ見守り運動）

- ・ 自治会では、月1回、登校時に北門から昇降口までのあいさつを行っている。信号でのあいさつ見守りは、5月からは月曜日と水曜日が自治会、6月からは子供会

が金曜日に、と自治会の他にも声をかけて増やしてきた。今日からPTAも参加し始めた。いずれも登校時だけだが、曜日や場所を増やしていきたい。（長谷川委員）

- ・ 民生委員の中でも参加可能な人は積極的に参加している。（古山委員）
- ・ 顔を合わせる機会が増え、子供からのあいさつが増えた。（長谷川委員）
- ・ 恥ずかしさからか、あいさつを避ける児童もいる。中学生は部活動の影響もあり、しっかりとあいさつができて印象。（宮本委員）

（地域での子供たちの居場所）

- ・ 地域の魅力向上を目指して「放課後居場所づくり事業」を開始した。小学生のみを対象としている。他地域のスポーツクラブ等に流れてしまう現状があるので。地元の葵西会館を使って居場所作りをして、子供たちに地域の魅力を知ってほしい。将来的には金管バンドのような取り組みも展開していきたい。（長谷川委員）
- ・ 金管バンドについて、学校に楽器が残っているのか確認したい。（古山委員）
 - 楽器は授業のために一部のみ残しており、残りは教育委員会ではない学外に移管されている。（学校）
- ・ 子供たちの居場所として学校のグラウンドの個人利用に制限があるのか。中学生が児童会を懐かしんで訪れた際、利用が止められて残念な思いをしたという話を聞いた。（宮本委員）
 - 中学生は個人利用を断っており、小学生が遊ぶ時間と重ならないように配慮している。小学校卒業時にその旨も伝えている。（学校）
- ・ 北部協働センターでは毎年8月にジュニア公民館事業を行っており、中学生ボランティアが活躍している。今年は2日、3日に開催する。保護者の方にはぜひ参加を勧めてほしい。8月23日には地区社協主催の子ども食堂を開催。（古山委員）

（地域の危険箇所）

- ・ 警察では、月に1回、交差点に立って安全の呼びかけを行っており、過去には萩の原神社の所でスピード違反の取締りも実施した。効果があつたため、今後も取り締まりをしてほしいことを提案している。バス通りやマックスバリュー近くが危険であり、主要道路からの抜け道として利用している車が多い。（長谷川委員）
- ・ PTA交通安全部では年度末の反省会で、危険箇所や見守り場所の見直しを行っている。担当教員にも報告しているので、確認してほしい。（宮本委員）
 - 構造上信号機の設置が難しい場所への注意喚起のマーカーコーン設置程度の対応は可能とのこと。歩行指導は学校でも行っていくが、地域の見守りやインフラ整備等の協力が必要不可欠。要望は自治会から出した方が通りやすい。（学校）

いろいろ情報交換できて有意義だった。学校でも子供たちに地域の方への感謝の気持ちを持つよう伝えていきたい。あいさつについても、すぐに変化は見られなくても、子供たちは少しずつ成長しているので、温かく見守ってほしい。葵西小の児童がバスで席を譲ったり、地域の方の落とし物を届けたり、白杖を拾って手渡すなど、地域からも好意的な声が届いており、家庭や地域と連携して子供たちを育てていきたい。（学校）

その他報告事項等

- ・ 司会の教頭から、次回の開催日程について連絡があつた。
第3回は令和7年10月27日（月）13：45から開催。13時半から全校集会参観。
詳細は追って案内する。
- ・ 校舎等工事の進捗や今後の予定について連絡があつた。